

平成23年度

札幌大谷中学校入学試験

特進・音楽・美術コース

国語

50分 100点満点

受験上の注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開けてはいけません。
2. 解答用紙は、この冊子の間にはさんであります。
3. 試験監督の指示があったら、解答用紙を抜き出し、受験番号、氏名、出身小学校名を記入してください。
4. 問題は①～③まであり、9ページまで印刷してあります。答えは全て別紙の解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。
5. 質問がある場合は、静かに手をあげ、試験監督が来るのを待ってください。
6. 試験終了の合図と同時にすみやかに解答をやめて、以後は試験監督の指示に従ってください。
7. 問題の都合上、原文とは一部表現を変えています。

① 以下の問いに答えなさい。

問一 次の熟語の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 雪崩 ② 名残 ③ 足袋 ④ 五月雨

問二 次の四字熟語の□にあてはまる漢字を答えなさい。

- ① 取□選択 ② 大同小□ ③ 傍□無人 ④ 臨機□変

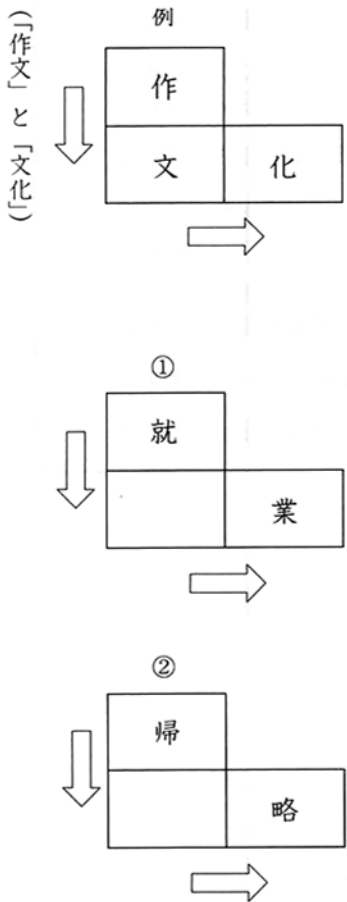
問三 次の熟語の同類語(同義語)、反対語(対義語)を指示に従って、□にあてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 収入⇄所□ (同類語) ② □⇄己⇄親友 (同類語)
 ③ 中止⇄□ (反対語) ④ 感情⇄□ (反対語)

問四 次のことわざの□に入る適当なものをそれぞれ選び記号で答えなさい。

- ① 弘法も□の誤り (ア 字 イ 筆 ウ 道)
 ② □をたたいて渡る (ア つり橋 イ 鉄橋 ウ 石橋)
 ③ 袖振り合うも□の縁 (ア 他生 イ 多少 ウ 他賞)
 ④ 糠に□ (ア みそ イ 杭 ウ 釘)

問五 例にならい、熟語を作るのに適切な漢字をそれぞれ答えなさい。



② 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「スターガール」は「ぼく」の高校に転校してきた不思議な生徒で、人と違ったドレスを着て、ウクレレを背負って学校中で歌っている。チアガールにスカウトされた「スターガール」が応援すると試合は盛り上がり、弱かったバスケットボールのチームも地区予選で連勝できた。

*コバックのチームのチアリーダーたちが、凍りついたようにベンチにすわったまま、ただ息をのんでいる間に、スターガールはフロアにひざまずいた。そして、ほかの人たちが足の手当をしている間、彼女は、彼の頭を自分のひざにノせていた。彼女の手は、やさしく顔やおでこをなでていた。彼になにかをささやいているようにも見えた。彼が担架で会場からハコビだされるとき、スターガールもそのあとについて行った。そこにいたみんなが、どちらのチームの側かにかかわらず、立ち上がり拍手を送った。サンバレーのチアリーダーたちは、コバックがシュートを決めたときのように飛び上がって歓声をあげた。体育館の高い窓に、救急車のライトの点滅がウツった。

ぼくはなぜ自分が拍手をしたのか知っている。でも、ほかのマイカのファンたちとおなじ理由だったのかどうかには自信がない。退場する勇者への本心からの拍手だったのか、それとも、彼が姿を消したことをよるこんでのものだったのか。その後、試合はサイカイされた。スターガールはふたたびチアリーダーのベンチにもどってきた。

コバックぬきのサンバレーは、**あ** 敵ではなかった。あつというまに追いつき、追い越し、そのまま易々と勝利をおさめた。

二日後の夜、マイカはグレンデルに破れた。おなじように前半で大差をつけられ、後半に入っても転機は訪れず、そのまま押し切られてしまった。エレクトロonzは、ひとりではなく五人を相手にしていた。しかも、ひとりひとりが、自分たちよりも強い五人と。また、今回は相手チームに足を折る選手もいなかった。マイカの応援団のなかには、絶望のなかでひそかにそれを願うものが、すくなくらずいただろうことは確かだったけれど。

ぼくたちは大きなショックを受けた。信じられない思いだった。そして、後半が残りわずかとなったとき、だれもが信じないわけにはいかなかった。相手サイドの応援席からきこえてくる歓声は、ぼくたちの大いなる妄想につき刺さる、降り注ぐ矢の雨のように感じられた。ぼくたちは、なんと大きなかんちがいをしていたのである。ただか、三流のリーグで無敗だったぐらいで、どうしてこの弱小チームが、大都市の名だたる強豪チームにも勝てるかもしれないなどと、思いちがいをしてしまったのだらう。そもそもがばかげた身のほど知らずの夢だったのだ。そして、その夢は粉々に打ち砕かれてしまった。それにしても、勝ちつづけるって、なんとすばらしいことだったらう。だからこそ、ぼくたちはその勝利に酔い、勝利こそが運命なのだと思こんでしまったのだ。それが、いまや……。

グレンデルのコーチが、レベルの劣る控え選手たちを送りこんできたときには、マイカの女子生徒たちは泣きはじめた。男子生徒たちは野次を飛ばしたり、ブーイングをしたりした。審判やゴールリング、シヨウメイにまであたりちらすものもいた。チアリーダーたちはそれでも応援をつづけていた。どの子も目に涙を浮かべ、こちらを見上げる類にはマスカラのあとがついていた。手を上げ下げしたり、歓声をあげたりと、チアリーダーがするべきことはすべてしていたが、その動作は空っぽで心がこもっていなかった。

ただひとり、スターガールをのそいては。彼女から注意をそらさずにいたぼくは、ほかの子たちとのちがいははっきり見えていた。頬は乾いている。声もかすれていないし、**い** も落としていない。後半がはじまってからは、彼女は一度もベンチにすわらなかった。そして、彼女はもう試合を見てはいなかった。コートに背中をむけ、立ち上がったままスタンドにむかって、体育館中に響きわたるような熱烈な応援の声をあげつづけていた。あと一分もすれば、エレクトロonzは三十点以上の差をつけられて負ける。それなのに、彼女はまたチャンスがあるかのように応援している。彼女の目は、これまで一度も見なかったことのない、おそろしいほどの輝きを放っていた。彼女はみんなにむかってこぶしをふり上げる。ぼくたちの暗い雰囲気吹き飛ばそうとでもいうように。

- *コバック……………相手チーム「サンバレー」のエースで試合中に足をけがした。
- *サンバレー……………相手チームの名前
- *マイカ……………「ぼく」と「スターガール」が通っている高校の名前。
- *グリーンデル……………「サンバレー」に勝った後に対戦したチーム名。
- *エレクトロonz……………「ぼく」と「スターガール」の高校のバスケットボールチームの名前。
- *野次……………他人のことを大声でからかったりばかにする声のこと。
- *マスカラ……………まつげを長く見せるために使う化粧品。

問一——線アく才のカタカナを漢字に直して書きなさい。

問二~~~~線の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 驚きのあまり、息をとめていること
- イ 恐怖のあまり、息をとめていること
- ウ 苦痛のあまり、息ができないこと
- エ 激しい運動のあまり、息ができないこと

問三 〔あ〕にあてはまる語句を次から選び、記号で答えなさい。

- ア もし
- イ どうか
- ウ まさか
- エ もはや

問四——線①にある「それ」とはどのようなことですか。わかりやすく説明しなさい。

問五——線②にある「降り注ぐ矢の雨」とは何のことですか。十九字で本文中から書き抜きなさい。

問六——線③とはどのようなことですか。本文中の語句を用い、五〇字以内で説明しなさい。

問七——線④の理由を三〇字以内で説明しなさい。

問八 〔い〕にあてはまる体の一部を答えなさい。

問九 「スターガール」の人物について最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 楽しいことにしか興味を持たず、周りの様子を感じることができない少女。
- イ 人の気持ちを細かに感じ取ることができ、何事にも全力でひたむきな少女。
- ウ 弱いものをかばい、味方になって応援することができる正義感が強い少女。
- エ チームの勝ち負けにはこだわらず、あっけらかんとした性格を持った少女。

③ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

道徳は、他者の利益と自分の利益の葛藤[＊]から起こることなので、道徳的に行動することができるには、一つには、他者というものがいて、その人も自分と同じように考えたり感じたりする存在であるということを理解できることが必要でしょう。このことは、人間であれば当たり前のように思われるかもしれませんが、生物学的に考えるにあたっては、非常に重要なことです。なぜなら、他者の心の理解ということは、人間以外の動物には、あまりその証拠がないからです。それには「心の理論」という脳の働きがかかわっています。【ア】「心の理論」とは、心についての科学的な理論のことではありません。③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

【イ】私たちは、日常的に他者の心の状態を無意識のうちにも類推しながら暮らしています。笑い顔の人を見れば、その人は楽しいと感じているのだと類推しますし、泣いている人がいれば、その人は悲しいと感じているのだと類推します。【ウ】このように、人が他者の表情や言葉などを手がかりにしてその人の心の状態を推測する機能を「心の理論」と言うのです。【エ】

なぜ「理論」なのかと言うと、他人の心というものには手にとって見てみることはできないので、他人が何を考えているのか、何を感じているのかは、しよせんは推測にすぎないからです。【あ】、私たちは、他者の心の状態について、ただやみくもにあてずっぽうの推測をしていくのではなく、表情や言葉などが何を意味しているのかを理解し、ある「理論」をもって、他者の欲求や目的や心の状態を推測しているでしょう。その全体の働きが、「心の理論」なのです。他者理解のために「心の理論」がたいへん重要であることは、よくわかりのことと思います。これがうまく働いているからこそ、人は、自分とは異なる他人の状態を推測し、その人が何を欲しているのかを理解することができるのです。

④「心の理論」が、子どものときにどのように発達していくのかについては、いくつもの研究があります。乳幼児は、自分自身の感覚と知覚、そして自分自身の感情状態を参照しながら、他者の視線の方向、他者の顔面表情などから、他者にも欲求があること、達成したいと欲する目的があることを知り、他者の心は、その視線や表情から類推できるということを徐々に理解していきます。四、五歳になれば、自分の欲求と他者の欲求とが異なる場合があることや、他者の思っていることが、現実とは異なる場合もあることなど、いろいろな社会的状況が理解できるようになります。だからこそ、さまざまな登場人物の心の葛藤の描写が含まれた「お話し」「物語」を楽しむことができるのです。この「心の理論」という脳の働きは、人間の脳に備わったものであって、視線の方向の探知、顔面表情の読み取りなど、それぞれに特殊化した神経細胞もあります。そして、赤ん坊のころから四、五歳ぐらいまでの間に、順を追って発達していくようです。しいいことは何か、いけないことは何かを、いちいち条件づけのようにして罰と報奨で教え込むこともできるでしょう。しかし、人間の子どもの心には、他者にも心がある、他者にも欲求がある、ということを理解する基盤があるのですから、他の動物に比べて い 的な行動が教えやすくなっているのではないかと思います。

長谷川真理子『生き物をめぐる4つの「なぜ」』より

＊葛藤……事がらが入り組んで解決しにくい争いやもつれのこと。
＊報奨………努力をほめたり、ごほうびを与えたりすること。

問一 ~~~~~ 線の意味を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 深く考えず イ 一つに集中し ウ 思い切って エ 他とは違い

問二 _____ 線①はいくつの単語でできているか、漢数字で答えなさい。

問三 _____ 線②とあるが、人間には「他者の心の理解」についてどのようなことがあるのですか。本文中の言葉を使い、

四〇字以内で答えなさい。

問四——線③が指す内容を六字で本文中から書き抜きなさい。

問五——あ にあてはまる接続詞を次から選び、記号で答えなさい。

ア そして イ しかし ウ ところで エ また

問六——線④とあるが、子どもの心の発達について本文の内容に合っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 乳幼児は他人の表情から何を求めているか想像できることを少しずつ覚えていく。
- イ 乳幼児はしていることは何か、いけないことは何かを報奨や罰でのみ覚えていく。
- ウ 四、五歳になり自分と他人の考えが同じだとわかると喜ぶようになってくる。
- エ 四、五歳になり自分と他人の心を重ねることができると「物語」を楽しむようになる。

問七——い にあてはまることばを二字で本文中から書き抜いて答えなさい。

問八 次の文が入るのに最も適当な場所を【ア】～【エ】から選び、記号で答えなさい。

また、「ねえ、はさみ持つてる？」と聞かれると、その人は、ただ単にあなたがはさみを持っているかどうかという
事実に興味があるのではなく、その人自身はさみが欲しいのだな、とその人の欲求や目的を類推します。